

#編集後記 積もった雪

NHK大河ドラマ「**どうする家康**」の放送が始まりました。

家康の話で僕が好きな逸話があります。

それは、名のある茶道具や刀剣等を収集していた豊臣秀吉が家康に宝物を見せると命じた時の話です。

「質素儉約」を旨としていた家康は「**私のために命を捨てる家臣たちが宝です**」と秀吉に答えたといひます。

家臣の「**命の重さ**」を身に染みて感じている家康。そんな家臣への思いやりの深い家康だからこそ、

家臣たちは主君の為に命を懸けて働いてくれたのではないのでしょうか。



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

Mail avenir4you@gmail.com



雪の季節「思いやり」で思い浮かぶのは、金子みすゞさんの「**積もった雪**」という詩です。

上の雪
さむかるな。
つめたい月がさしていて。

下の雪
重かるな。
何百人ものせていて。

中の雪
さみしかるな。
空も地面じべたもみえないで。



あなたなら
どうする～
By いしだあゆみさん



天下とるんで
ほっといテンカ
By 家康くん

それぞれの雪が抱えているであろう「かなしみ」に目を向け、積もった雪を崩し、思いやる詩です。

誰も見えないところで、人知れぬかなしみや苦しみを抱きながら生きているのだと、考えさせられます。

先日、年末に起きた救急車の横転事故の原因が、救急隊員の居眠り運転だったと報道されました。

隊員らは事故発生までにおよそ **17 時間の間ほぼ休みなく** 7 件の搬送を担当していて、

コロナによる救急のひっ迫の中、現場の過酷な勤務が浮き彫りになりました。

この増え続けている 119 番通報のうちおよそ 2 割は、**不要不急の通報**といわれています。



1 月 1 7 日の日経新聞では、日本の教員は海外と比べて労働時間が長く、とりわけ他国と比べて

「**保護者への対処**」に**ストレス**を感じる教員が多いと報道されていました。その結果、指導力の向上やスキルアップに注力できていないという問題が生じているとのこと。

ちなみに昨年 1 2 月、文部科学省は 2 0 2 1 年度に公立小中高校と特別支援学校で

精神疾患を理由に休職した教員は過去最多を記録したと発表しています。(>_<)



今月の 1 7 日で阪神淡路大震災から 2 8 年。毎年、「**命の重さ**」を改めて思います。

自宅が全壊しながらも自分の家族をそっこのけで役所としての対応をしたという、西宮市役所の元職員の方のお話を震災特別番組で聞きました。結局、その方が自分の幼い子どもたちと再び会って話げできたのは震災の日から 1 週間たってからだったといひます。自宅が倒壊しながらも「家族を見捨て涙を流しながら住民救助にあたった」という消防士の手記も紹介されていました。

僕らの生活は、自分や自分の家族のことは脇に置いてでも公務を優先せねばならない、そういった方々の見えない苦勞に支えられています。僕らはもう少しそんな方々に思いを馳せなければならないように思います。

市役所



家康の「**家臣たちが宝**」という言葉。それは、すなわち「**人財**」(じんざい) のこと。

永く 2 6 0 余年の泰平の世を支えた江戸幕府は、「人財」を掲げたそんな家康だったからこそ築けたのだと思ひます。

社員の見えない苦勞を思いやり、社員を大切にする会社。

そして、それぞれに事情を背負いながらも、経営者や仲間と心を一にして働く社員。

厳しい戦国の世に家康が目指したものはそんな**強いチームづくり**だったのかもしれない。(〆)



アヴェニール労務事務所

未来は変えられる! **avenir**